

# 貸借対照表

2018年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	2,290,291,964	2,346,945,667	△ 56,653,703
有形固定資産	2,288,408,527	2,345,062,230	△ 56,653,703
土地	183,334,664	177,701,562	5,633,102
建物	1,858,883,785	1,914,206,865	△ 55,323,080
構築物	48,790,312	55,710,985	△ 6,920,673
運用土地	2,136,736	2,136,736	0
教育研究用機器備品	24,897,551	25,116,941	△ 219,390
管理用機器備品	2,761,601	1,096,094	1,665,507
図書	167,603,878	169,093,047	△ 1,489,169
その他の固定資産	1,883,437	1,883,437	0
電話加入権	1,453,437	1,453,437	0
有価証券	430,000	430,000	0
流動資産	112,294,726	208,365,992	△ 96,071,266
現金預金	62,139,922	88,457,919	△ 26,317,997
未収入金	49,727,104	119,724,473	△ 69,997,369
前払金	427,700	183,600	244,100
資産の部合計	2,402,586,690	2,555,311,659	△ 152,724,969

(単位 円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	646,456,490	277,254,029	369,202,461
長期借入金	463,700,000	99,026,754	364,673,246
学園債	0	8,000,000	△ 8,000,000
退職給与引当金	182,756,490	170,227,275	12,529,215
流動負債	177,642,022	656,230,346	△ 478,588,324
短期借入金	53,040,000	451,706,705	△ 398,666,705
未払金	69,664,610	159,516,467	△ 89,851,857
前受金	29,050,000	25,800,000	3,250,000
預り金	20,776,645	14,096,407	6,680,238
仮受金	5,110,767	5,110,767	0
負債の部合計	824,098,512	933,484,375	△ 109,385,863
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	3,991,970,104	3,927,371,535	64,598,569
第1号基本金	3,900,970,104	3,801,371,535	99,598,569
第4号基本金	91,000,000	126,000,000	△ 35,000,000
繰越収支差額	△ 2,413,481,926	△ 2,305,544,251	△ 107,937,675
翌年度繰越収支差額	△ 2,413,481,926	△ 2,305,544,251	△ 107,937,675
純資産の部合計	1,578,488,178	1,621,827,284	△ 43,339,106
負債及び純資産の部合計	2,402,586,690	2,555,311,659	△ 152,724,969

(注記)

1. 重要な会計方針
  - ①引当金の計上基準
    - 徴収不能引当金  
未収入金の徴収不能見込額が過少のため引当金を計上しない。
    - 退職給与引当金  
退職金の支給に備えるため、以下の基準で計上している。
      - 高校  
期末要支給額から京都府私学退職金財団よりの交付金相当額を控除した額の100%を計上。  
期末要支給額 695,126,225 円
  - ②その他の重要な会計方針
    - 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法  
預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。  
仮受金に係る収入と支出は相殺して表示している。  
仮払金に係る収入と支出は相殺して表示している。
2. 重要な会計方針の変更等  
該当なし。
3. 減価償却額の累計額の合計額 1,611,108,140 円
4. 徴収不能引当金の合計額 0 円
5. 担保に供されている資産の種類及び額
  - 土地 181,980,398 円
  - 建物 1,858,883,785 円
6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 0 円
7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
  - 第4号基本金 91,000,000 円
  - 資金
    - 現金預金 62,139,922 円

現在、主要な債権者であるりそな銀行京都支店と協議の上、平成29年度から平成34年度までの再生計画案を作成し、債務の返済・圧縮、財政基盤の安定化等の経営改善に向けた活動を行っている。
8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項  
当該年度において、成美大学短期大学部の廃止が認可された。  
新規取引金融機関としてりそな銀行京都支店が加わった。融資取引においては現在全てりそな銀行京都支店である。